
意地

大犬太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

意地

【Nコード】

N8668V

【作者名】

大犬太

【あらすじ】

ショートショートです。

おもちゃ売り場で泣く子どもと父とのお話。

おもちゃ屋の前で泣く息子。

「買ってええー！」

床に転がり駄々をこねる。

「ダメだ」

そんな息子を一喝し立たせる。

「この前も買ってやったばかりだろう」

服に付いた汚れをはたき、ほろってやる。

「違うの、この前のやつとは違うタイプなんだって」

「ダメだ」

息子の訴えも虚しく、泣き声だけが響きわたる。

「ほら、行くぞ」

「やだ」

「ほら、早く」

手を差し出すも無視。

「じゃあいい、俺だけ帰るからな」

秘技『突き放し』効果は抜群のようだ。

「うわぁーん！」

欲しい、けどこのままでは一人ぼっちになってしまう。

そんな狭間で息子は訳がわからなくなり、再び泣き出した。
道行く人々が何事かと見つめるも、そんな事は気にしない。

「ありがとうございましたー」

誰かが買い物を終えて出てくる。偶然にもうちと同じ親子のようだ。

「あっ……」

息子が声を上げる。ビニールから透けて見えるおもちゃが欲しいものらしい。

「フツ……」

笑われた。しかも鼻で。

「コーラ、ダメだろ笑っちゃ。人それぞれ事情があるんだ

」

そういう父親は”そんなものも買えないの？”と言った顔でこちらを流し見。上から目線だ。

「かわいそうだね」

去りぎわに子どもが言った。

「……」

無言で佇む親子。なんだろうこのムカムカは、悔しい、そうか、悔しいのか俺は。

「おい……お前が欲しいのはどこにあるんだ」

息子の顔がパツと明るくなる。

「こっち！」

店内へ走って行く息子を追って駆け出した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8668v/>

意地

2011年10月9日14時33分発行